



▲おおぞら町内会の小松原啓司さん(左)、工藤重民会長(中央)、五十嵐廣さん(右)。

防火・防災まちづくりモデル地区
おおぞら町内会
(西宮の沢地区)

地域の防災は日ごろから

各町内会単位で結成され、災害による被害を防止・軽減するために地域での防災活動を行う「自主防災組織」。

西宮の沢地区の「おおぞら町内会」では平成9年に自主防災組織「おおぞら町内会防災会」を組織して積極的な防火・防災活動を行い、平成14年度には、札幌市消防局が行っている「防火・防災まちづくりモデル事業」のモデル地区に指定されました。

おおぞら町内会では、防災会を組織するとともに防災訓練を開始、平成14年度からは、毎年大規模な屋外訓練と災害図上訓練「DIG」を行っています。9月5日には、震度6強の地震を想定して、住民が自主的に避難や救護活動などを行う150人規模の訓練を行いました。「いざというときに住民が協力して迅速に対応できるように備えておくことが重要です」と、同町内会長の工藤重民さんは日ごろの訓練の意義を強調します。

「地道に活動を続けることで意識を高めていくことが大切」と話す3人からは、地域の安全な暮らしを守りたいという強い意気込みが伝わってきました。



▲9月5日に行われた「発災対応型防災訓練」の様子。

編集 手稲区役所総務企画課広聴係

ホームページ「ていねっていいね」<http://www.city.sapporo.jp/teine/>

〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目

☎ 681-2400内線224 FAX681-6639